

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
舞台実習Ⅰ											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選	種別	実習	時間数	105	単位	3
担当教員	竹本 敏彰			実務経験	有	職種	俳優、演出家				
授業概要											
舞台演技の表現能力の向上を図り、集団で舞台芸術作品を制作するプロセスを実践的に学びます。											
到達目標											
学生が舞台空間で生き抜くことの難しさを実感し、実践することで俳優業を理解することが目標である。役者として活動続けるために必要な努力を模索し、更に、発声力、歌唱力、身体表現力をより発展させ、よりクオリティの高いものを目指しながら、今後の進路、役者としての仕事を深く考察できる力を養うことも目標に加える。											
授業方法											
舞台空間を設定、もしくは戯曲の世界観を個人やグループで演劇戯曲を立体化する。都度、発声力、歌唱力をチェックしながら、作品理解、人物理解が学生ひとりひとりに成されているか確認し戯曲を完成させていく。舞台実習Ⅲと連動し（声優コースは声優演技）、観客に見せるための舞台を総合芸術としての演劇もしくはミュージカルを創り上げていく。											
成績評価方法											
俳優は日常の鍛錬が重要であり、授業への積極的な参加を評価する。											
履修上の注意											
学生の心身が健全、健康であることを何より優先する。学生とのコミュニケーションを重視し、明るく、清しい授業空間を創ることが肝要である。また、快活で積極的な授業参加を求めるため理由のない遅刻や欠席は認めない。態度が改善されない場合、配役の変更や降板をすることもある。授業時数の4分の3を出席しないものは定期試験を受けることができない。											
教科書教材											
演劇戯曲の台本を中心に使用、必要に応じて配布。ミュージカル戯曲の場合は楽譜を必要に応じて配布。											
回数	授業計画										
第1回	「舞台空間に生きる」をイメージする										
第2回	グループで創る（1）										
第3回	グループで創る（2）										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
声優・演劇科	
舞台実習Ⅰ	
第４回	成果発表用の戯曲を創り上げる（１）
第５回	成果発表用の戯曲を創り上げる（２）
第６回	成果発表用の戯曲を創り上げる（３）
第７回	成果発表用の戯曲を創り上げる（４）
第８回	成果発表用の戯曲を創り上げる（５）
第９回	成果発表用の戯曲を創り上げる（６）
第１０回	成果発表用の戯曲を完成させる（１）
第１１回	成果発表用の戯曲を完成させる（２）
第１２回	舞台公演を振り返る
第１３回	「舞台空間で生き抜く」の探求（１）
第１４回	「舞台空間で生き抜く」の探求（２）
第１５回	「舞台空間で生き抜く」の探求（３）